

令和3年度事業報告書

1. 概況

令和3年度の事業計画の基本方針、重点項目に基づき事業を実施した。

学校給食用物資の選定・調達については、引き続き原材料の産地確認や放射性物質の検査結果の確認、学校給食用物資納入指定業者の指導など、安心・安全・良質な物資の選定に努めた。

また、契約栽培による野菜調達や地元産物資の優先購入など地産地消の推進を図った。

さらに、南学校給食センターにおける食物アレルギー対応食（鶏卵、乳、えび、かに）の提供について、本会もこれに対応した給食用物資を提供した。

なお、本会のホームページに南・北・西学校給食センターの献立のほか、事業計画書・予算書・事業報告書・決算書などを掲載し、引き続き積極的な情報発信に努めた。

令和3年度の給食実施については、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大により、松江市においても市立小・中・義務教育学校、幼稚園で学級閉鎖や学校閉鎖などの措置が取られたことにより給食の急な中止が相次いだ。

そのような中、令和3年度も引き続き教育委員会と連携し、給食センター所長や学校給食栄養管理者の協力も得ながら収支相償の運営に努めた。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響や、ロシアのウクライナ侵攻の影響による燃料価格の高騰に伴う輸送経費の値上がり、世界的な穀物価格の高騰などにより、全体的に食材価格が予想を超える範囲で大きく変動した。

学校の学級・学校閉鎖による食材の廃棄に伴う支出については、松江市からの補填を受けたが、全体的な食材の高騰により収支状況は2年連続で赤字を計上する状況となった。

2. 理事会等の開催状況

(1) 理事会

	議案番号	議 題	開催日時	開催場所
第1回	議第1号	令和2年度事業報告並びに収支決算書類(案)の承認について	R3.6.8	南学校 給食センター
	議第2号	定時評議員会の招集について		
	議第3号	役員候補者の推薦について		
	議第4号	臨時理事会の書面同意について		
第2回	議第1号	理事長・副理事長・常務理事の互選について	R3.6.25	書面表決
第3回	議第1号	令和4年度事業計画及び収支予算について	R4.3.16	書面表決

(2) 監査会

	議 題	開催日時	開催場所
	令和2年度事業並びに決算についての監査	R3.6.1	会議室

(3) 評議員会

	議案番号	議 題	開催日時	開催場所
第 1 回	議第 1 号	評議員の選任について	R3.6.24	書面表決
	議第 2 号	役員を選任について		
	議第 3 号	令和 2 年度収支決算承認について		

3. 登記、許認可、報告、届出事項

行政官庁	区 分	年 月 日	事 項
松江地方法務局	申請	令和 3 年 7 月 27 日	法人変更登記申請書
島根県教育委員会	報告	令和 3 年 6 月 25 日	令和元年度事業報告書・収支決算書提出
	届出	令和 3 年 8 月 4 日	公益法人変更届出書提出
	報告	令和 4 年 3 月 30 日	令和 4 年度事業計画書・収支予算書提出

4. 評議員、役員に関する事項（令和 4 年 3 月 31 日現在）

評議員

氏 名
藤 原 亮 彦
大 本 公 良
中 村 美 帆
福 島 喜美子
長 島 美保子
万 代 悦 子
吉 原 隆 子

役員

役職名	氏 名
理事長	寺 本 恵 子
副理事長	三賀森 卓 司
常務理事	樋 原 哲 也
理事	藤 原 恵 子
	石 川 芳 廣
	山 根 良 平
	佐々木 明 美
	福 田 郁 子
	藤 原 麻 衣
監事	竹 下 昌 宏
	福 井 治

5. 参与に関する事項（令和4年3月31日現在）

氏名	所属	職名	備考
陰山直也	松江市立北学校給食センター	所長	
田中弘幸	松江市立南学校給食センター	所長	
山崎日出夫	松江市立西学校給食センター	所長	
坂本達夫	松江市立鹿島学校給食センター	所長	
小汀雅夫	松江市立島根学校給食センター	所長	
足立訓英	松江市立八雲学校給食センター	所長	
柳本知史	松江市立宍道学校給食センター	所長	
大谷浩	松江市立東出雲学校給食センター	所長	

6. 職員に関する事項（令和4年3月31日現在）

区分	職名	氏名
職員	事務局長	樋原哲也
	事務員	平野恵美
		福田陽子
		上代有里花

7. 重点項目

(1) 安心・安全な給食用食材物資の選定・調達

①学校給食用物資選定会

学校給食用物資選定会は、「学校給食衛生管理基準」に基づき、平成23年度から引き続き、松江市PTA連合会並びに松江市教育研究会食育部から参画を得て、給食物資の選定方法・選定過程の透明性の確保、学校給食の運営に対する理解と協働の推進に努めたが、コロナ感染拡大防止のため、外部委員は書面審査とした。

なお、選定会は、松江市立北・南・西学校給食センターで使用する食材物資を対象に、夏休み期間を除き毎月開催している。

[学校給食用物資選定会開催状況]

開催月日	選定物資	選定者	場所
4月13日	5月使用分	○松江市PTA連合会 ○松江市教育研究会食育部 ○松江市立北・南・西学校給食センター各所長・学校給食栄養管理者 ○松江市学校給食課	松江市立西学校給食センター 2階会議室
5月6日	6月使用分		
6月3日	7月使用分		
7月6日	3年度2学期・9月使用分		
9月9日	10月使用分		
10月8日	11月使用分		
11月4日	12月使用分		
12月7日	3年度3学期・1月使用分		
1月7日	2月使用分		
2月3日	3月使用分		
3月10日	4年度1学期・4月使用分		

②学校給食用物資納入指定業者登録

本会は、良質で安心・安全の食材物資を安定的に調達するため、食材物資を購入する業者の指定登録制（登録期間2年）をとっている。

令和3年4月1日から2年間の登録決定した61業者（主食7業者、牛乳2業者、副食のべ53業者）から購入した。

ア 納入指定業者数（3～4年度）

給食センター管内	登録決定数	年度末登録数	備考
北・南・西	34	34	新規 1
鹿島	2	2	廃業 0
島根	2	3	撤退 0
八雲	5	5	
宍道	9	9	
東出雲	9	9	
計	61	62	

※ 南・北・西センターの業者数は、他センターに納入している業者を含む。

③地産地消の推進について

野菜の調達については、学校給食用物資選定基準の「同等・同価格のものは、松江市内産・島根県内産を選定する。」に従い地元産を優先的に使用した。

特に、JAしまねとの契約栽培による野菜は松江市の助成（25%）があり低価格であるが、数量の確保や規格（大きさ、重さ）などの課題もある。

一方、松江市では平成29年度からの総合計画における学校給食の地産地消率を、学校給食で使用する野菜について、平成28年度の33%を令和3年度には40%の目標値とされている。これを具現化するため、松江市では平成30年1月に「松江市地産地消推進行動計画」が策定された。

松江市やJAしまねと連携を強化し、契約栽培農家や野菜の種類増加、作付け状況を見据えた献立作成などを行った結果、令和3年度は若干減少したものの、平成30年度以降は目標値を上回る成果を達成することができている。今後も引き続き地産地消の推進に努めていく。

主要8品目 たまねぎ・キャベツ・白菜・ほうれん草・きゅうり・さつまいも
大根・かぶ

地場産野菜使用割合（%）の変化

年 度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
主要8品目	35.3	45.5	43.8	51.0	41.4

(2) 給食用食材物資の安全確保

①異物混入対策・食品微生物検査対策

給食用物資の異物混入については、平素から学校給食関係者・機関が一体となって、学校給食で異物を出さないよう努めているが、毎年度相当件数発生している。

28年度204件、29年度172件、30年度99件令和元年度91件、令和2年度86件、令和3年度は113件となり若干増加した。

異物を発見した場合は、納入業者に現物を引き渡し、製造業者を含めて、異物混入の原因とその再発防止対策について速やかな報告を求め、対策の実施を指導した。

また、食品微生物検査対策については、年3回各学校給食センターで実施された食材の微生物検査結果を確認し、基準値を超えた場合は、当該業者に指導・注意喚起を行っている。(3年度は実績なし)

②工場視察の実施

上記の異物混入や食品微生物検査結果に基づき、異物内容、発生回数、検査結果数値等の実態に応じて、工場等への立入調査を行い、その原因や再発防止について業者と協働で対策を講じている。(3年度は実績なし)

また、納入指定業者の新規申請者については、工場等への視察を行い、設備、衛生管理などの現状把握に努めた。

③放射性物質等検査結果の確認

納入予定物資の産地確認を行うと共に、産地に応じて納入業者から放射性物質検査結果書の提出、又はホームページにより確認を行い安全確保に努めた。

また、外国産冷凍野菜については、ポジティブリスト(農薬残留値リスト)や細菌検査成績書の提出を受けて、確認を行い安全確保に努めた。

(3) 給食会の収支状況

令和3年度も引き続き教育委員会と連携し、給食センター所長や学校給食栄養管理者の協力も得ながら収支相償の事業運営に取り組んだが、2年連続の赤字を計上する結果となった。

単位：円

年度	正味財産増減額	正味財産期末残高
26	△1,237,557	13,023,147
27	22,830,229	35,853,376
28	3,633,802	39,487,178
29	△5,754,738	33,732,440
30	4,746,083	38,478,523
元	3,262,712	41,741,235
2	△15,584,125	26,157,110
3	△4,736,613	21,420,497

8. 事業の概要

(1) 物資の選定・調達

学校給食用物資の購入にあたっては、本会の納入指定業者登録制度に基づき登録した62業者から購入した。(令和4年3月31日現在)

区分	業者数	登録期間	備考
主食	7	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	副食はこのべ業者数
牛乳	2		
副食	54		
計	62		

①主食

ア 精米・小麦粉

前年度と同様、松江市教育委員会から公益財団法人島根県学校給食会に提出された「学校給食(精米・小麦粉)需要申請書」に基づき、年間を通して(公財)島根県学校給食会から購入した。米は、令和元年11月から松江市管内産こしひかり2等米から市内産のきぬむすめ1等米に変更している。

パン用の小麦粉は、国内産小麦100%で内20%が島根県内産を使用し、麺用の小麦粉はオーストラリア産小麦100%を使用した。

イ ごはん・パン・麺

ごはん・パン・麺は、(公財)島根県学校給食会、業者、本会との3者契約により、炊飯3業者、パン3業者、麺1業者から購入した。

②牛乳

「学校給食用牛乳供給対策要綱」(文部科学省事務次官通達)及び「島根県学校給食用牛乳供給実施方針」に基づき、配分機関である(公財)島根県学校給食会と牛乳供給事業者である2業者(一部地域は他業者と業務委託)、本会との各三者契約により購入した。牛乳は、すべて島根県内産である。

幼稚園用牛乳については、学校給食法に基づく給食ではないため、本会と牛乳業者2社との個別契約により購入した。

③副食物資

翌月の献立に基づき、納入指定業者から、食材の「サンプル」及び「見積書」を徴取し、学校給食用物資選定会において、「物資選定基準・分類表」に基づき栄養バランス、成分、添加物、アレルギー物質の有無、食味、食感、産地、価格等を比較検討し、納入する物資及び納入業者を決定した。

使用頻度が高く価格変動の少ない物資(調味料・缶詰等)は学期毎の選定を、野菜・食肉等は月毎の選定を行った。

(2) 物資の納入先

給食センター	小学校	中学校	幼稚園	計
北	中央、津田、川津朝酌、持田、本庄美保関、八束前期	第二、第四本庄、美保関八束後期	中央、津田、川津朝酌、持田	19
南	雑賀、古志原、竹矢、乃木、忌部、大庭、玉湯前期	第三、湖南湖東、玉湯後期	雑賀、古志原忌部、大庭、たまゆ	17
西	母衣、城北、内中原、法吉生馬、古江大野、秋鹿	第一、湖北	母衣、城北古江、大野、秋鹿	16
鹿島	恵曇、佐太鹿島東	鹿島	佐太、講武	7
島根	島根	島根	—	3
八雲	八雲	八雲	—	3
宍道	宍道、来待	宍道	—	4
東出雲	出雲郷、揖屋意東	東出雲	—	5
8	33	16	17	74

※ 佐太、講武、たまゆ幼稚園は完全給食、その他の南・北・西センター管内の幼稚園は牛乳給食、それ以外の幼稚園は給食なし。

※ 生馬・恵曇・竹矢・本庄幼稚園は休園

9. 資料

(1) 受取給食費単価（平成26年2学期から）

(単位：円/食)

区分	完全給食	牛乳給食	備考
小学校	272	—	
中学校	313	—	
幼稚園	251	50	